



同じものの違いについて



国籍	ミャンマー
職種	座席シート縫製
実習実施者	株式会社デルタ・シー・アンド・エス
監理団体	協同組合西海協

エー ミヤツ トン
AYE MYAT TUN

同じように見えるものでも実際にはいろいろな違いがあります。私は日本に来てからそのような違いに少しずつ気づくようになりました。特に日本とミャンマーの花に対する考え方の違いに興味を持ちました。例えば日本の桜とミャンマーのパダウです。どちらもとてもきれいでそれぞれの国を代表する花です。しかし、その扱い方や考え方には大きな違いがあります。日本では、春になると多くの人がお花見を楽しみます。その時、人々は桜の木にあまり触れませんし、枝を折ることもほとんどありません。また、花を取ることも少ないです。花をそのままの形で楽しみ、自然の美しさを大切にしていると感じました。桜は木についている時が一番美しいと考えられているからだと思います。そのため、できるだけ木や花を傷つけないようにしていると思います。一方、ミャンマーのパダウは、一年に一度、最初の雨が降る時に咲く特別な花です。人々はその花が咲くのをとても楽しみにしています。そして、花が咲くとすぐに花を取り仏様にあげたり、大切な人にあげたりします。これはミャンマーの文化であり、花に対する愛情の表れです。しかし、その時に枝や木

が傷ついてしまうこともあります。このように考えると、日本とミャンマーでは自然に対する考え方に違いがあると思います。日本では自然をそのままの形で守ることを大切にしています。がミャンマーでは花を人と分け合い気持ちを伝えることを大切にしています。また、この経験から、物の価値についても考えるようになりました。私たちはよく物の価値を値段で考えますが、本当の価値はそれだけではないと思います。人がどのように考え、どのように大切にするかによって、その価値は変わるのではないのでしょうか。この考え方は人にも同じだと思います。自分を大切にしている人は、人生の中で幸せを見つけることができると思います。だから、私たちも自分を大切にすることが大切だと思います。家族や周りの人、そして自分たちが持っているものを大切に、自分の国の文化まで大切にすることができれば、どんなものでも価値があるものになると思います。桜のように、日本人が大切にしているから、外国人にも認められているのだと思います。だから、将来はパダウの花だけでなく、国の文化も大切に、その価値を高めることができる人になりたいです。